

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先)川崎市長

郵便番号 〒10-0852
 住 所 川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号
 氏 名 医療法人社団 こうかん会 印
 理事長 水野 嘉夫
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	医療法人社団 こうかん会			
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号			
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者			
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)			
主たる事業 の種類	大分類	P	医療、福祉	
	中分類	83	医療業	
主たる事業 の内容	一般病院、一般診療所			
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,538	k l	
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台	
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t - CO ₂	
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名 総務人事部 設備保全室		
		所 在 地 川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号		
		電話番号	044-344-7778	
		F A X 番号	044-333-5599	
		メールアドレス		

受付欄	特記事項	事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	平成22年度 ~ 平成24年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	1 基本対策 1) 推進体制の整備 2) 主要設備の保全管理 2 目標対策 空気調和装置にインバーター装置を導入し、 その運転方法、基準を変更する。 詳細は 指針様式 第1号(第4,5面)による。
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	なし
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	1) 廃棄物の減量化、分別化を推進する。 2) 川崎市の「IT運搬制度」について 関係会社に 協力を 要請。 詳細は、指針 様式第1号(第6面)のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
 2 のある欄は、該当する 内にレ印を記載してください。
 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
 4 印の欄は記入しないでください。
 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

1、事業者 基本方針

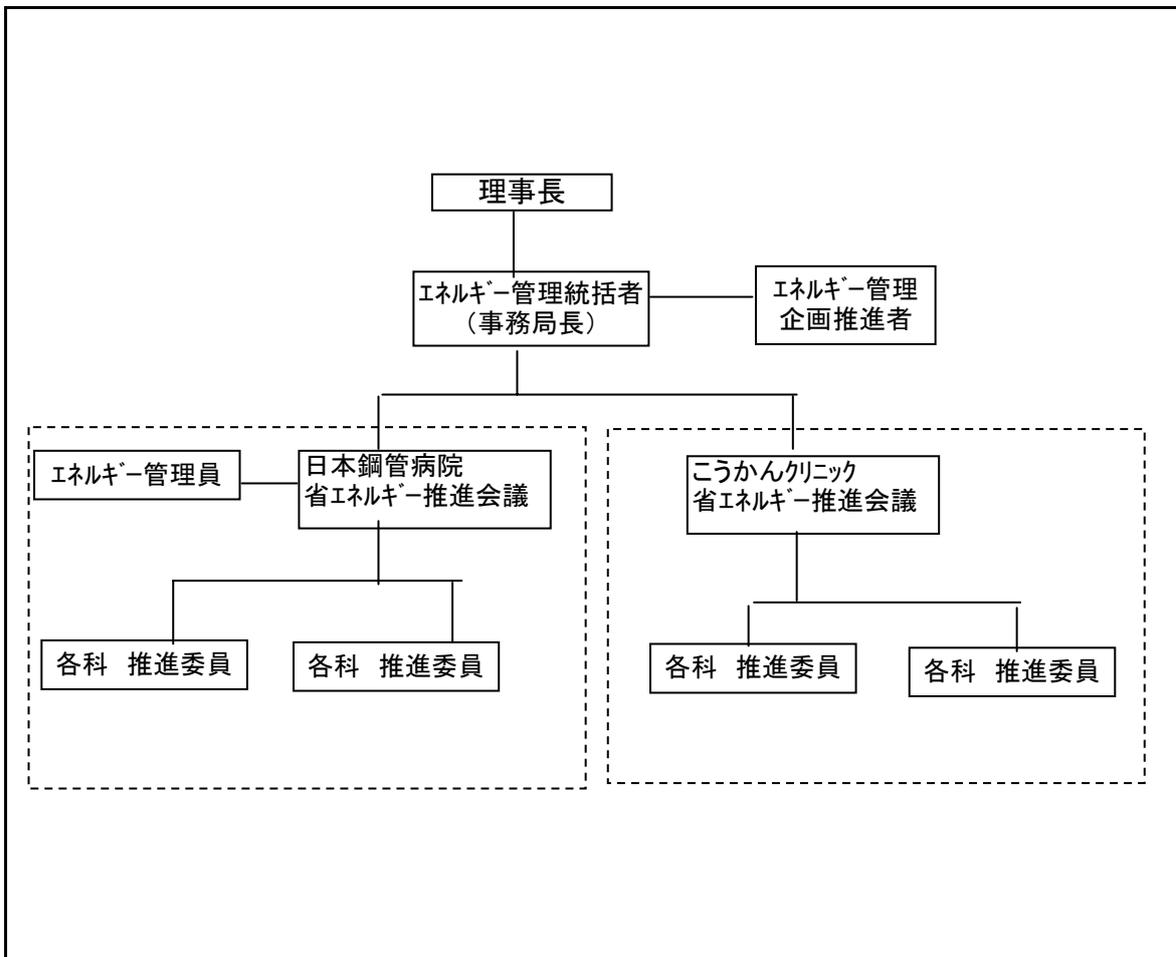
次の3つの基本方針により、地球温暖化対策を積極的に進めている。

- (1) 地球温暖化対策に関する取組みを、組織的に行い、また継続的に対策を推進する。
そのために 日本鋼管病院、こうかんクリニックに省エネルギー推進会議を設ける。
- (2) 省エネルギー推進会議は 温室効果ガスの排出量の削減のための 目標を明確に定める。
- (3) 温室効果ガス排出量の少ない機械、設備を選択し、削減に寄与できる製品、商品、またはサービスを購入する。

2、各事業所の基本方針

- (1) 計画期間(3年間)に、事業活動地球温暖化対策指針にある基本対策を 着実に実行し、計画した効果を達成する。
- (2) 同指針の目標対策メニューのうち、再生可能エネルギー源の 積極的な導入を図る。
- (3) 現有の設備、装置の 効率的な運転に努め、エネルギー消費の少ない運転の方法で 運転を行う。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成21年度	目標年度	平成24年度
基準排出量	(実) 4,447 (調) 3,868 t-CO ₂	目標排出量	(実) 4,269 t-CO ₂
削減率	(実) 4.0 %	削減量	(実) 178 t-CO ₂

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	単 位
基準年度の値	目標年度の値
削減率	%
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	

ウ 目標設定に関する考え方

<p>1 排出量削減のための組織体制を 確立し、活動の開始を 平成22年度にスタートする。</p> <p>2 平成24年度まで、温室効果ガスの排出量を減らすために、病院内の空気調和装置にイバ-ター装置を導入する。 これにより 使用電力量の削減を行う。</p> <p>1) 空気調和装置にイバ-ター装置を導入し、また これを利用して、効果的に運転を行うことで、3年間で 4%以上の排出量の削減を図ることを目標とする。</p> <p>更に この期間に ホ-イ-の発生蒸気の使われ方を 測定、調査して、有効な 次の実行策を策定する。</p>

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p>	<p>基本対策</p> <p>1 推進体制の整備</p> <p>1) 日本鋼管病院、こうかんクリニックに省エネルギーを推進するための委員会を新設する。</p> <p>2) その委員会の体制を整備する。</p> <p>2 主要設備の保全管理</p> <p>1) 主要設備であるボイラー設備、冷凍機設備、空調機、空気調和装置、受電変電設備、照明設備、エレベーター設備、冷温水発生装置、に対し、管理標準を明確に示し、これに沿った運転マニュアルを作成する。</p> <p>2) 管理標準、またマニュアルに従い 設備を運転、管理し、省エネルギーに必要な使用量、負荷変動などのデータを採取する。</p> <p>3) そのデータから 省エネルギーに必要な 排出量、原単位などの管理すべき数値を算出し、効果的な運転について工夫や、検討を行い、実施する。</p> <p>目標対策</p> <p>1 具体的な 削減計画を作成し、実施し、推進し、効果を測定し、計画を検証し、計画を修正する。(P D C A サイクルを回す)</p> <p>2 現在計画中の 具体的な計画を実施、推進する。</p> <p>1)日本鋼管病院 南病棟 空気調和装置に インバーター装置 新設</p> <p>2)日本鋼管病院 北病棟 空気調和装置に インバーター装置 新設</p> <p>3) 日本鋼管病院 外来棟、リハビリテーション棟 空気調和装置に インバーター装置 新設</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

現在 計画中の省エネルギー対策が進捗したとき、
 広い 屋上スペースを利用した太陽光発電システムの導入を目指す。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
	今のところ なし		

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種 類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
	なし		

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

1) 空気調和装置に 電力量計を設置して、使用電力の測定し、削減のための計画の作成、効果の考察を行い、計画化した。

6 他者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- 1) 廃棄物の減量化、分別化を推進する。
- 2) 当院へ 資材、器機、廃棄物などを 車で搬入、排出、来院する関係業者さまへ川崎市の「口運搬制度」について 協力を要請している。

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	4,447	t-CO ₂
(調)	3,868	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算I礼㊦-使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本鋼管病院	川崎市川崎区鋼管通1丁目2番1号	8311	医療	4,074 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算I礼㊦-使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算I礼㊦-使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400 ~ 500kl 未満	
300 ~ 400kl 未満	
200 ~ 300kl 未満	1
100 ~ 200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はI礼㊦-使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はI礼㊦-使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--